

2015-B					
拠出金・基金の 名称		グローバル作物多様性基金拠出金			
種 別		イヤーマーク      ノン・イヤーマーク			
【拠出先の国際機関名】グローバル作物多様性基金(GCDT)					
【所管官庁担当局課・室名】農林水産省 大臣官房国際部 海外投資・協力グループ					
【当該任意拠出金の目的・用途等】					
国際農業研究協議グループ(CGIAR)のジーンバンクを運営するグローバル作物多様性基金(GCDT)へ資金を拠出し、ITPGRの基盤強化に貢献する。					
【最近3年間の我が国支払額及びODA率】					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千米ドル)	外貨2 (千 )	レ ー ト	ODA率(%)
平成27年度	21,569	196		1米ドル = 110円	100
平成26年度	-	-	-	-	-
平成25年度	-	-	-	-	-
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】					
<p>グローバル作物多様性基金(GCDT)は、食料安全保障のため、作物多様性の維持とその利用可能性の確保を目的に、FAOとCGIARの協力のもとに設立された国際組織である。本研究組織は、2006年にITPGRの運営本部と関係協定を結んでおり、種子の生育域外保全というミッションを長期的に行うことで、食料安全保障の一翼を担っている。</p> <p>当該任意拠出金は、CGIARのジーンバンク機能、特にアフリカ稲研究所(AfricaRice)のジーンバンクに保存されているアフリカイネの遺伝資源の強化を通じて、ITPGRの基盤強化に貢献するものであり、意義が大きい。なお、平成27年度は、本事業の初年度であり、調査に必要な遺伝資源(約2000品種)をジーンバンクから実験施設に移動させ、栽培実験を実施。</p>					